

浅科小学校だより

賢 優 健

令和4年7月27日(水) NO.4

佐久市立浅科小学校

(文責 校長 熊井 恵子)

保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止のための学級閉鎖や学校閉鎖へのご協力、ありがとうございました。緊急下校となり、学校として不手際な対応になってしまったところもありましたが、保護者の皆様のご支援のおかげで、何とか対応できました。登校できず、友だちと会えない、授業ができない等、不自由で不安な日々を過ごすことになったお子さん達の気持ちを考えると心が痛みます。

今年度は天候の変動が激しく、6月より猛暑に見舞われ、体感温度が体温を超えるような日もあり、体温調節や健康維持について熱中症の心配も含めて注意して過ごす日々が続きました。学校生活では、感染症予防と熱中症予防の観点から、場面に応じてマスクの着脱をする指導を行ってきました。特に声を発する必要がないと想定される場面や子どもたち同士の距離が十分にとれる場面では、マスクを外すように呼びかけました。屋外での体育や遊び、登下校をその対象としています。授業では「対話的な学び」を展開して、友だちから学んだり説明したりすることで、自分の考えを整理したりしてさらに考えを深めることを求めています。こうした学び合いの場面では、言葉によるコミュニケーションが不可欠となります。特に教室では、子どもたち同士の距離も十分にはとれませんので、マスクの着用と換気を心がけてきました。新型コロナウイルス感染は、今後も予断を許さない状況です。2学期も状況に合わせ、知恵を出し合い、できることをできる方法で進めていきたいと思っております。

明日から、夏休みとなります。夏休み中の安全や規則正しい生活、ご家庭におけるルール等について、ご配慮をよろしくお願いいたします。



【1 学期終業式 学校長の話】

「～自分の好きなこと、得意なことからのために努力しよう～」

今年は、新型コロナウイルス感染症の流行のため、学校閉鎖となり、1学期の終わりに皆さんと過ごす時間が少なくなっていました。さみしいですが、学校や自宅で、落ち着いて生活しようがんばっている皆さんに心から感謝します。ありがとうございます。

さて、明日からいよいよ、夏休みです。夏休みになったら何をしようかなとわくわくしている人もいるでしょう。せっかくの長い夏休みです。長い休みにしかできないことをしましょう。宿題やお手伝いもとても大事ですが、是非「自分の好きなこと・得意なこと」にも取り組んでみましょう。また、「自分の夢に向かってがんばってみることも、とてもいいですね。自分の好きなことに取り組んだり、夢に向かって努力したりした人を何人か紹介しましょう。



この人は、だれか知っていますか？あまり知られていないかもしれませんが、この人は、「ジャン・アンリ・ファール」・・・今から200年前に生まれたフランス人です。「ファール昆虫記」という本を書いた人です。ファールは、小さいころから自然豊かな村で過ごし、植物や昆虫に興味を抱いていたそうです。「ファール昆虫記」という本を書いた人として、有名ですね。本を読んだ人もいますか？ファールの観察や研究の中で有名なのは、スカラベ(またの名をフンコロガシ)という昆虫の研究です。

スカラベは、ヒツジや牛のフンを転がして玉を作り、餌にしたり、卵を産み付けて幼虫の餌にしたりしていました。当時、このフンの玉の中に卵が産みつけられていると考えられていたのですが、自分の目で見ないと気がすまないファールは、スカラベを捕まえて何日も何日も観察をして、メスがフンの玉を洋ナシの形にしてから卵を産み付けることを発見しました。洋なしの形の細い部分に卵を産むことで、幼虫にとって息がしやすいようになっているようです。皆さんの中にも昆虫が大好きな人がいますね。時間をかけてじっくり観察をしたり、一研究で取り上げてみたりしても面白いかもしれません。



<若田光一さん>

この人は、どんな人か知っていますか？日本人初、国際宇宙ステーションの船長として 188 日間も宇宙に行っていた人です。今、校長先生と同じくらいの年の方です。今年の秋には、5 回目の宇宙ミッションに行くことが決まっているそうです（これは日本人としては最高記録だそうです。）若田さんは、小学校 1 年生の頃から、飛行機やロケットのパイロットになりたいと思っていました。そのためには、どうしたらいいだろうと、小学生の若田さんは考えたそうです。飛行機のパイロットは管制官と英語で話しますし、宇宙飛行士たちもみんな英語でやり取りをしています。それを知った若田さんは、パイロットという自分の夢をかなえるために、小学校の頃から英語の勉強を一生懸命したそうです。そして、数学や理科の勉強もして、とうとう夢を叶えて、宇宙飛行士になりました。



<大谷翔平選手・池江璃花子選手>

スポーツの分野で自分の夢に向けて努力した人を紹介しましょう。今、大活躍しているメジャーリーガー、ピッチャーとバッターの二刀流で有名な大谷翔平選手です。大谷選手は小さい頃から目標をきちんと決めて毎日実行したそうです。ピッチャーとして、ドラフト 1 位でプロ球団に入るために、まず、8 つの目標を考えます。「コントロールを良くする」「投げる球の切れを良くする」「スピードを 160 キロ出す」「変化球を投げる」「体力作り」「メンタル（精神力）を強くする」「運をよくする」そして、「人間性」（感謝や思いやりを大切に書いてあります。）その一つ一つを達成するために、更に細かな目標が設定されています。大谷選手は、目標に向かって努力して夢を実現したのですね。

水泳で大活躍の池江璃花子選手です。池江選手は、東京オリンピックで金メダルが取れるかもと言われるくらい、クロールやバタフライが上手な選手だったのですが、3 年前、白血病という重い病気にかかってしまいました。それでも、池江選手は、あきらめずつらい治療をして病気を治し、毎日毎日ものすごい努力をして、昨年、東京オリンピックでリレーに出場しました。本当にすごい人です。

どの人も、自分の好きなことに時間を忘れて打ち込んだり、将来の夢のために一生懸命勉強したり努力したりしました。皆さんの中にも、夢を叶える力が眠っています。時間のある夏休みに、自分の好きなこと得意なことのため自分の力をのばすため、そして将来の夢のために目標を決めてがんばってください。

事故に遭わないように 規則正しい生活を心がけて過ごしましょう。8 月 23 日、2 学期スタートの日、元気に会いましょう。

【夏休み 7月28日～8月22日 《健康で安全に》《充実した時間を》】

- 交通ルールを守る 児童の交通事故の原因は、ほとんどが『とびだし』です。止まって安全確認することが命を守ります。自転車乗車時はヘルメット着用を！
 - この季節、つりや水遊びによる水の事故も心配されます。海や川、池での事故がないように、遊ぶ時は安全な場所で、必ず大人の人と。急な天候の変化にも注意を！
 - 生活のリズムを崩さないように！ゲーム・スマホのルールを決め、守りましょう。
 - 新しい生活様式で新型コロナウイルス感染防止に努めましょう。
 - 事故や病気等、命に関わるものが起きた場合や、新型コロナウイルスの感染が確認されたとき、濃厚接触者となったときは、学校に連絡をしてください。ただし、土日・祝日・学校リフレッシュウィーク（8/10～8/16）は、佐久市役所日直に連絡をしてください。
- ※学校の電話番号 0267-58-2102 佐久市役所日直 0267-62-2111
8月23日（火）から2学期が始まります。元気に登校し、また学校で明るい笑顔を見せてください。

【お知らせ】

- ☆ALT のキャメロン・アレクサンダー・ギャレット先生が、1 学期末をもって3年間の本校勤務を終えます。子どもたちが英語に親しめるように授業を工夫してくださいました。2学期からは、新しい ALT の先生が着任します。
- ☆学級・学校閉鎖や出席停止に伴い、ご勤務先に証明書を提出する必要がある方は、学校にご連絡ください。